

令和元年度事業報告

本協会は、一昨年4月、産業廃棄物の処理業者と排出事業者が連携して、産業廃棄物の適正処理を前提に、資源循環の推進による産業の健全な発展等による循環型社会の構築と県民福祉の向上に寄与することを目指し、一般社団法人千葉県産業資源循環協会へと名称変更した。

令和元年度はその2年度目に当たり、前年度の成果と課題を踏まえ、事業計画に基づき、適正処理の推進や環境学習の普及促進、労働災害防止計画の着実な進捗などに重点を置き、次のとおり各事業を実施した。

I 自主事業部門（継続事業1）

1. 調査研究・広報事業

- ① 各種印刷物等の配布、ホームページへの掲載、委員会・部会・講演会等を通じ、随時、会員に法改正・行政施策の情報提供を行った。
- ② 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について情報提供を行った。
- ③ 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行い、令和元年9月末までに収集した事例をホームページ及び会報（2020冬号）に掲載するとともに、「令和元年ヒヤリ・ハット事例」を会員に送付するなどして、その活用を促した。

2. 労働安全衛生推進事業

平成29～31年度を実施期間とし、死傷者数を平成24～26年の平均に比して、20%以上減少させることを目標とする「労働災害防止計画」の着実な進捗を図るため、千葉労働局をはじめ、関係する機関と連携を取りながら、労働災害防止に向け取り組んだ。

また、（公社）全国産業資源循環連合会から提供された「当業界における労働災害に関する報道情報」及び「参考となる類似事故とその対策情報等」を会員へ周知した。

さらに、労働災害防止のための研修会等を開催するとともに、千葉県内の労働災害の発生状況等について情報収集・取り纏めを行い、ホームページに掲載するなど、会員企業だけに留まらず、広く安全衛生に関する情報提供に努めた。

3. 研修事業

（1）協会独自の研修会等

- ① フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習会

<第1回>

開催日 令和元年5月14日(火)
場 所 千葉商工会議所
参加者 47名
講 師 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター
安全管理士 藤原 伸郎 氏
安全管理士 浅賀 義章 氏

<第2回>

開催日 令和元年6月4日(火)
場 所 千葉商工会議所
参加者 35名
講 師 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター
安全管理士 藤原 伸郎 氏
安全管理士 浅賀 義章 氏

<第3回>

開催日 令和元年8月27日(火)
場 所 千葉商工会議所
参加者 34名
講 師 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター
安全管理士 藤原 伸郎 氏
安全管理士 浅賀 義章 氏

② 労働災害防止セミナー

開催日 令和元年8月29日(木)
場 所 千葉商工会議所
参加者 35名
内 容 ア.「労働災害事例から学ぶ安全衛生対策」
講師：千葉労働局 労働基準部健康安全課
主任地方産業安全専門官 渡邊 秀明 氏
イ.「企業における事故防止の責任について」
～ドライブレコーダー映像から見る危険予測～
講師：損保保険ジャパン日本興亜(株)
千葉支店中央支社 支店長代理 神納 恒平 氏
ウ.「自動車事業適正化」～乗務前・乗務後点呼～

講師：日本通運(株) 千葉支店 課長 高木 輝彦 氏
 講師：日本通運(株) 千葉支店
 千葉コンテナ事業所長 五十嵐久仁 氏

③ KYT (危険予知訓練) 研修会

開催日 令和元年10月2日(水)
 場所 千葉県自治会館
 参加者 28名
 講師 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター
 安全管理士 佐藤 友重 氏
 安全衛生管理士 須田核太郎 氏

(2) 許可申請に関する講習会等

(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが実施する令和元年度許可講習会等について、受付業務及び運営業務を通じて開催に協力した。

① 産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会

| 課程 | 開催日 | 会場 | 受講者数 |
|----------------|----------------------|---------|--------------|
| 収集運搬 | 令和元年7月10日(水)～11日(木) | 千葉県自治会館 | 145名 |
| 収集運搬 | 令和元年11月26日(火)～27日(水) | 千葉県自治会館 | 139名 |
| 処分 (うち収運同時) | 令和元年12月17日(火)～20日(金) | 千葉県自治会館 | 95名 (51名) |
| 収集運搬 | 令和2年3月16日(月)～17日(火) | 千葉県自治会館 | 133名 |

② 産業廃棄物処理業の更新許可申請に関する講習会

| 課程 | 開催日 | 会場 | 受講者数 |
|----------------|---------------------|---------|---------------|
| 処分 (うち収運同時) | 令和元年5月23日(木)～24日(金) | 千葉県自治会館 | 137名 (84名) |
| 収集運搬 | 平成31年4月24日(水) | 千葉県教育会館 | 180名 |
| 収集運搬 | 令和元年5月21日(火) | 千葉県自治会館 | 141名 |
| 収集運搬 | 令和元年7月12日(金) | 千葉県自治会館 | 142名 |
| 収集運搬 | 令和元年9月19日(木) | 千葉県自治会館 | 143名 |
| 収集運搬 | 令和元年11月29日(金) | 千葉県自治会館 | 131名 |
| 収集運搬 | 令和2年1月30日(木) | 千葉県自治会館 | 124名 |
| 収集運搬 | 令和2年3月19日(木) | 千葉県自治会館 | 138名 |

③ 特別管理産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会

| 課 程 | 開 催 日 | 会 場 | 受講者数 |
|-----------------|---------------------|---------|--------------|
| 処 分 (うち収運同時) | 令和元年6月24日(月)～28日(金) | 千葉県自治会館 | 65名 (59名) |

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

| 開 催 日 | 会 場 | 受講者数 |
|----------------|---------|------|
| 平成31年 4月23日(火) | 千葉県教育会館 | 169名 |
| 令和元年 5月22日(水) | 千葉県自治会館 | 145名 |
| 令和元年 7月9日(火) | 千葉県自治会館 | 142名 |
| 令和元年 9月18日(水) | 千葉県自治会館 | 133名 |
| 令和元年 11月28日(木) | 千葉県自治会館 | 142名 |
| 令和2年 1月29日(水) | 千葉県自治会館 | 139名 |
| 令和2年 3月18日(水) | 千葉県自治会館 | 中 止 |

(3) その他研修

(公社)全国産業資源循環連合会が主催した「産業廃棄物処理実務者研修会ー基礎コース」の開催に協力した。

開催日 令和元年7月2日(火)

場 所 千葉県自治会館

参加者 78名

内 容 ・産業廃棄物処理の基礎
 ・産業廃棄物の委託処理と委託契約
 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)・帳簿

講 師 (公社)全国産業資源循環連合会 講師 村田 弘 氏

(公社)全国産業資源循環連合会 講師 渡辺 一法 氏

4. 適正処理及びリサイクル等普及推進事業

(1) 相談指導事業

- ① 産業廃棄物の適正処理のため、電話等による相談に応じた。処分先の間合せについては、協会ホームページの「業者検索システム」を活用し会員処理業者を斡旋した。
- ② 各種許可、届出手続き等について、随時相談に応じた。

(2) 広報啓発事業

- ① 安全に対する意識を高めるために「安全標語」の募集を行ったところ、273点の応募があり、審査の結果、「思い出せ！ ヒヤリで済んだあの経験 みんなで共有 ゼロ

災職場」が最優秀賞に選ばれた。今後、協会ホームページのトップページに掲載するなど、協会の各種広報活動に使用していく。

② 「協会報」(2019 夏号、2020 冬号)を発行し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布し、協会の活動状況、関係行政機関の通達、産業廃棄物処理に関する情報提供を行った。

③ 協会ホームページの内容を充実させ、排出事業者等に最新の情報提供を行った。

【URL : <https://www.chiba-sanpai.or.jp>】

④ 日本建設業連合会等発行「建設廃棄物処理委託契約書」等、出版物を有償頒布した。

⑤ 各種新聞、刊行物への広告及び掲載記事等を通じて協会活動の広報啓発を行った。

⑥ 「千葉県産業資源循環協会」名入りのリサイクルシャープペンシルとリサイクル定規を作成し、環境学習関係者、施設見学会やKYT研修会参加者等に配布して、協会の名称変更の周知とともに3R活動の啓発も行った。

⑦ 第14回夏休みエコ絵画コンクールに協賛した。

⑧ 「エコメッセ2019inちば」に協賛、出展した。

開催日 令和元年10月20日(日)

場 所 幕張メッセ国際会議場

内 容 飲み終えた牛乳パックで簡単な可愛い鉛筆立てを工作

⑨ 第19回千葉県廃棄物適正処理推進大会

千葉県廃棄物適正処理推進大会に実行委員会の一員として参画した。

開催日 令和2年1月21日(火)

場 所 千葉県教育会館

内 容 <演奏会>(令和元年度県民芸術劇場公演)

千葉交響楽団によるピアノトリオ及びソプラノ歌手の演奏
～めぐる旋律 未来へ受け継ぐハーモニー～

<表彰式典> 当協会からは下記の7名が表彰された。

千葉県循環型社会形成推進功労者表彰

『千葉県知事感謝状』

加瀬 邦雄 氏 (株ナリコー)

林 義巳 氏 (高俊興業株)

『千葉県環境生活部長感謝状』

岩楯 保 氏 (株市川環境エンジニアリング)

宮内 美津子氏 (株ミヤウチ)

三橋 謙一 氏 (株東興開発)
伊藤 昭二 氏 (高俊興業株)
百田 英二 氏 (千代田鋳研株)

参加者 234名

主催 千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会

(構成員) (一社) 千葉県産業資源循環協会・千葉県環境衛生促進協議会・
千葉県産業廃棄物処理業協同組合・(一財) 千葉県環境財団・
(一社) 千葉県環境保全協議会・(一社) 千葉県建設業協会

後援 千葉県、千葉市、船橋市、柏市

協賛 (一社) 千葉県浄化槽協会・(一社) 千葉県環境保全センター

⑩ 県民講座として、一般県民を対象とした施設見学会を開催した。

<第1回>

開催日 令和元年8月19日(月)

場所 ・JFEエンジニアリング(株) グローバルリモートセンター
・(株)Jバイオフーズリサイクル 横浜工場

参加者 20名

<第2回>

開催日 令和元年12月5日(木)

場所 ・(株)アルフォ 城南島第2飼料化センター
・高俊興業(株) 東京臨海エコ・プラント

参加者 25名

(3) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)等普及推進事業

① (公社) 全国産業資源循環連合会発行の『産業廃棄物管理票(マニフェスト)』及び建設六団体副産物対策協議会発行の『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』等を有償頒布した。その他、「マニフェストシステムがよくわかる本」を有償頒布し、産業廃棄物管理票の普及と適正処理の推進を図ったほか、記載方法等の問い合わせに応じた。

・マニフェスト頒布数

『産業廃棄物管理票(マニフェスト)』

直行単票 122,390セット(前年度:102,850セット)

直行連続 182,500セット(前年度:159,500セット)

積替単票 2,860セット(前年度:2,370セット)

積替連続 3,500セット(前年度:4,500セット)

| | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 計 | 311,250セット (前年度:269,220セット) |
| 『産業廃棄物管理票 建設系廃棄物マニフェスト』 | |
| 建設単票 | 152,180セット (前年度:132,270セット) |
| 建設連続 | 166,000セット (前年度:164,500セット) |
| 計 | 318,180セット (前年度:296,770セット) |
| 合計 | 629,430セット (前年度:565,990セット) |

② (公社) 全国産業資源循環連合会との電子マニフェスト運用支援業務委託契約に基づき、『操作体験セミナー』を実施し、電子マニフェストの普及、拡大を図った。

- 第1回 開催日 令和元年6月19日(水)
場 所 千葉県生涯学習センター
参加者 19名
- 第2回 開催日 令和2年2月13日(木) 午前
場 所 千葉県生涯学習センター
参加者 19名
- 第3回 開催日 令和2年2月13日(木) 午後
場 所 千葉県生涯学習センター
参加者 18名

(4) 災害廃棄物処理支援

令和元年台風第15号・19号及び10月25日の大雨による県下の未曾有の被害に対し、災害協定に基づき、県から「市町村が実施する災害廃棄物の処理等」について協力要請(10市4町)があった。

このため、鋸南町と「災害廃棄物分別及び積込業務委託」契約及び「災害廃棄物運搬処理業務委託」契約を9月13日付けで締結したのを始めに、順次、市町村等と契約を締結し、60社以上の会員会社の協力を得て、年度内にほとんどの事業を完了することができた。

(5) 優良産廃処理業者認定制度の普及促進

ホームページ等による情報提供等を通じて、廃棄物処理法の優良産廃処理業者認定制度の普及促進に努めた。

5. 環境保全対策事業

不法投棄等の不適正処理による支障除去に対する支援等については、該当事案がなかった。

6. 環境学習普及促進事業

県の「環境学習行動計画」策定過程に合わせて行う予定の、県や教育委員会と連携・協働して行う資源循環型環境学習事業の検討は、県の策定作業の都合により、令和2年度に行うことになった。

平成30年に、千葉市立登戸小学校において初めて実施した「環境学習授業」は、単なる「出前授業」ではなく、学校の授業計画等と整合のとれた環境学習授業とするため、千葉市教育委員会に対し助言・支援要請を行うとともに、現職・OBの教員で構成する「特定非営利活動法人 郷土ちばに学び親しむ会」に対しても協力・支援を依頼し、千葉市末広公民館の山口館長に講師をお願いした。

この結果、千葉市立寒川小学校の協力を得て、令和元年11月6日（水）に、4年生の社会科の授業として、3クラスに各1校時（45分授業）資源循環型環境学習授業を行った。

また、授業の教材として活用するためのDVD「ものが生まれ変わる様子を見に行こう！」～木材リサイクル編～を年度末に作成した。

II 受託事業部門（継続事業2）

<県内産業廃棄物処理業者育成事業>

1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務（千葉県・千葉市・船橋市・柏市委託事業）

産業廃棄物処理業者セミナーを、下記のとおり実施した。

開催日 第1回 令和元年 9月5日（木）

第2回 令和元年11月7日（木）

場 所 青葉の森公園芸術文化ホール

内 容 ・指導の状況と注意点について

講師：（第1回）千葉県環境生活部 廃棄物指導課 監視指導室

副主査 石橋 大樹 氏

（第2回）千葉県環境生活部 廃棄物指導課 監視指導室

主 事 樽角 翼 氏

・県内の廃プラスチック類処理を取り巻く状況について

講師：千葉県環境生活部 廃棄物指導課 指導企画班

副主査 宮澤 利幸 氏

・廃棄物の適正処理と循環・3Rの推進について

講師：(公財) 廃棄物・3R研究財団

調査部長 藤波 博 氏

参加者 第1回 302名
第2回 305名

2. 許可申請に係る相談業務（千葉県委託事業）

産業廃棄物収集運搬業（積替・保管を除く）の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に係る相談、優良認定制度に係る相談を実施した。

許可申請に係る相談時に、「水銀廃棄物の適正処理の推進のためのパンフレット」（環境省作成）とリーフレット「産業廃棄物の種類」を配布し、水銀廃棄物の取扱いについて周知徹底を図るとともに、適正処理とコンプライアンスの確保を呼び掛けた。

- ・新規許可に関する説明会 20回開催 出席者 38名
- ・新規許可申請 760件進達 延べ 1, 254件相談
- ・変更許可申請 123件進達 延べ 198件相談
- ・更新許可申請 1, 608件進達 延べ 2, 227件相談
- ・変更届出書 940件進達 延べ 1, 256件相談
- 合 計 3, 431件進達 延べ 4, 935件相談
- ・優良産廃処理業者認定制度に係る相談 43件
- ・更新手続きの通知 1, 875件

Ⅲ 県収入証紙売捌き事業部門（収益事業）

産業廃棄物処理業許可申請に当たって県に手数料を納付する申請者の便宜を図るため、県から「県収入証紙売捌き所」の指定を受けて、県収入証紙を購入して、有償頒布（売捌き）をした。

Ⅳ 法人管理等部門

1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正並びに業界の環境変化に迅速的確に対処し、会員の意見や要望に応え得るよう、それぞれの問題について協議するため次のとおり開催した。

(1) 委員会

① 総務企画委員会

令和2年度事業計画及び予算について、現状に対応した事業内容の見直しや新規事業について検討した。

② 広報研修委員会

本年度の研修事業計画について協議し、産業廃棄物処理業者セミナーのカリキュラム等について検討を行ったほか、県外視察研修を実施した。

③ 適正処理推進委員会

優良事業所及び優良従事者の選考、第19回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考を行った。

④ 安全衛生推進委員会

安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集及び労働安全に関する表彰の選考について協議し、事業を実施した。

⑤ 災害廃棄物対策委員会

千葉県との協定に基づく災害廃棄物処理の対応や課題等を検討した。

(2) 部会

① 合同部会

開催日 令和元年9月6日(金)

場 所 ホテルスプリングス幕張

内 容 <第1部>合同部会

産業廃棄物埋立処分委託契約書について

講師：(公社)全国産業資源循環連合会

調査部長 香川 智紀 氏

<第2部>特別公演

東日本大震災からの復興

講師：衆議院議員・復興大臣 渡辺 博道 氏

参加者 第1部 90名

第2部 100名

② 建設廃棄物部会

混合廃棄物分科会を協会会議室で3回開催し、処理困難物の対応等の課題を協議した。

③ 賛助会員建設部会

ア. 総会

令和元年7月12日(金)、「三井ガーデンホテル千葉」において、令和元年度建設部会総会を開催し、平成30年度事業報告、令和元年度事業計画、役員を選任について承認された。

議事終了後、建設現場で起こった法違反事例紹介、産業廃棄物処理の現状とその対策について意見交換を行った。

イ. 正・副部会長会議

第1回 令和元年 5月21日(火) 協会役員室

第2回 令和元年 9月 6日(金) 協会役員室

ウ. 施設見学

開催日 令和元年12月 3日(火)

見学先 ・リファインバース(株) 千葉工場
・(株)エコ・マイニング

参加者 15名

(3) 支部会議

支部における諸問題を協議し、会員相互の情報交換、意見交換を行い、行政当局に対する要望事項をまとめた。各支部とも会議終了後、出席者による懇親会を開催し、会員相互の親睦を図った。

① 中央支部会議

開催日 令和元年8月 7日(水)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 32名

② 西支部会議

開催日 令和元年8月 2日(金)

場 所 船橋グランドホテル

参加者 45名

③ 南支部会議

開催日 令和元年7月31日(水)

場 所 五井グランドホテル

参加者 45名
【共通議題】 ○講演

「全国産業資源循環連合会の活動について」

講師：(公社) 全国産業資源循環連合会

総務部 担当部長 古川 洋一 氏

○意見交換

ア. 行政又は協会に対する意見・要望事項について

イ. その他

○連絡事項

ア. 産業廃棄物処理業者セミナーの開催について

イ. 「ヒヤリ・ハット」事例の収集について

ウ. フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習会について

エ. 労働災害防止セミナーについて

オ. KYT研修会の開催について

カ. 人材育成プログラムについて

キ. 産業廃棄物処理検定について

ク. 能力アップセミナーについて

ケ. 協会への加入促進のお願いについて

コ. 組合への加入について

サ. その他

2. 関係機関、団体との連携、協力

(1) 行政との連携、協力

- ① (公社) 全国産業資源循環連合会を経由して主に環境省から提供される行政情報を協会ホームページに掲載し又は直接会員等に配布して、情報提供を行った。
- ② 千葉県環境生活部廃棄物指導課とは、支部会議等各種会議に担当者の出席を得るなど日常的に意思疎通を図った。
- ③ 千葉県環境生活部循環型社会推進課とも共催事業の打合せを行うとともに、災害協定や災害廃棄物の処理などについて随時、意見交換を行った。
- ④ 環境行政の推進に当たり、県及び柏市からの推薦依頼を受け、千葉県環境審議会委員として岩楯常任理事が、柏市廃棄物処理清掃審議会委員として木村専務理事が就任し活動した。
- ⑤ 行政懇談会

産業廃棄物の適正処理を推進するため、日常から行政に協力するとともに、千葉県及び3市と行政懇談会を開催し意見交換を行った。提案要望及び協議した事項は次のとおりである。

開催日 令和元年12月17日(火)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

参加者 39名

内 容 ○意見交換

ア. 「令和元年台風第15号、第19号及び10月25日の大雨に係る千葉県災害廃棄物処理実行計画」について

イ. 災害廃棄物処理について

ウ. 「千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱」について

エ. 公的関与の最終処分場について

オ. 許可更新手続きについて

⑥ 廃棄物のリサイクル推進マッチングセミナー

千葉県、(一社)千葉県環境保全協議会との共催により、廃棄物のリサイクル推進のための排出事業者と処理業者とのマッチングセミナーを開催した。

開催日 令和2年2月3日(月)

場 所 千葉県自治会館

参加者 122名

○第一部 廃プラスチックの現状と今後の取組

～持続可能な循環型社会に向けて～

1. 演題：海洋プラスチック汚染の現状と今後

講師：九州大学 応用力学研究所

附属大気海洋環境研究センター 教授 磯辺 篤彦 氏

2. 演題：廃棄物エネルギーの産業利用の可能性について

～廃プラスチックの有効利用方策のアプローチとして～

講師：早稲田大学 理工学術院

大学院環境・エネルギー研究科 教授 小野田弘士 氏

○第二部 廃棄物処理業者による事業PR

1. 演題：使用済家電製品・電子機器の資源リサイクルについて

講師：(株)ハイパーサイクルシステムズ

製造技術部長 小笠原 忍 氏

2. 演題：家電から家電への自己循環 ～混合プラスチックの高度選別～

講師：(株)グリーンサイクルシステムズ

代表取締役社長 坪井 伸之 氏

○第三部 名刺交換会

排出事業者と処理業者（14社が各ブースで資料等を配布）とのフリーの名刺交換及び打合せ相談

(2) 他団体との連携、協力

- ① (公社)全国産業資源循環連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会役員が委員として参加するなど、連合会の事業推進に協力した。
- ② (公社)全国産業資源循環連合会等主催の「第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加した。

開催日 令和元年11月15日(金)

場 所 ホテルオークラ神戸(兵庫県神戸市)

内 容 ○環境大臣表彰式典

○基調講演

廃掃法施行50年の振り返りと今後の展望

講師：上智大学法科大学院 教授 北村 喜宣 氏

○パネル討論会

廃プラ輸出からの脱却

コーディネーター：(一社)兵庫県産業資源循環協会

会長 東浦 知哉 氏

パネリスト：環境省 環境再生・資源循環局

廃棄物規制課長 成田 浩司 氏

兵庫県 農政環境部 環境管理局

環境整備課長 石岡 之俊 氏

(株)神戸製鋼所

環境防災部長 泥 俊和 氏

大栄環境(株) 事業本部

副本部長 中村 龍男 氏

(公社)全国産業資源循環連合会

専務理事 森谷 賢 氏

- ③ 関東地域の都県協会と交流を図り、(公社)全国産業資源循環連合会を通じて国等に対する要望活動を行うとともに、産業廃棄物に関する諸問題について協議するため次のとおり参加した。

・第62回関東地域協議会

- 開催日 平成31年4月19日（金）
- 場 所 ホテルグランドパレス（東京都千代田区）
- 議 事
- ・平成30年度 事業報告及び事業収支決算報告
 - ・平成31年度(2019)年度 事業計画(案)及び事業収支予算(案)
 - ・女性部会活動報告
 - ・次回開催地の決定
 - ・その他
- 講 演
- ・連合会の活動報告について
講師：(公社)全国産業資源循環連合会
専務理事 森谷 賢 氏
 - ・産業廃棄物行政の現状と今後の展望について
講師：環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物規制課長 成田 浩司 氏

・第63回関東地域協議会

- 開催日 令和元年11月22日（金）
- 場 所 ホテル テラス ザ ガーデン水戸（茨城県水戸市）
- 議 事
- ・台風15・19号による各都県被害概要、及び各協会対応結果について ※各都県協会発表
 - ・連合会事業報告
 - ・女性部会活動報告
 - ・次回開催地の決定
 - ・その他
- 講 演 産業廃棄物行政の現状と今後の展望について
講師：環境省 環境再生・資源循環局
廃棄物規制課長 成田 浩司 氏

- ・建設廃棄物対策委員会を開催し、2年に1度の処理料金調査を実施した。
- ・事務責任者会議（10月、3月）、事務担当者会議（11月）に参加した。

④ 一都三県建設混合廃棄物意見交換会等に参加した。（8月、2月）

⑤ （一財）千葉県環境財団のちば環境再生推進委員会委員として杉田会長が活動した。

3. 新規会員の加入促進、会員間の連携強化

機会を捉えて、協会役員等により、協会未加入の産業廃棄物処理業者や排出事業者に対して事業内容等を説明し、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、協会の事業

紹介リーフレットを配布し、正会員及び賛助会員の加入促進を図った。

4. 顕彰・表彰事業

① 会長表彰として、功労者1名、優良事業所1事業所及び優良従事者29名を協会の第7回定時総会において表彰した。

【功 労 者】 平澤 雅彦 氏（大平興産株）

【優良事業所】 株東興開発（市川市）

【優良従事者】 ○10年以上従事、年齢30歳以上

岡村奈緒子 氏（大平興産株）

村越 光訓 氏（千葉オイレッシュ 株）

嶋田 康弘 氏（大平興産株）

高橋 一彦 氏（株ダイセキ）

時田 健次 氏（株市原ニューエナジー）

山田 慶光 氏（J&T環境株）

鷹架 哲也 氏（千代田鉦碎株）

藤田 旭 氏（ジャパンクリーンテック株）

加治千万人 氏（株日美産業）

北川 勉 氏（エコシステム千葉株）

泉水 清 氏（株ダイセキ）

山下 貴之 氏（千葉オイレッシュ 株）

野村 信江 氏（株日美産業）

岩楯 保 氏（株市川環境エンジニアリング）

大野 友治 氏（株市原ニューエナジー）

○20年以上従事、年齢40歳以上

石井 輝夫 氏（株ナリコー）

伊菅 智 氏（臼井水産有）

篠塚 潤一 氏（千葉産業クリーン株）

齋藤 英樹 氏（株市原ニューエナジー）

野場 崇 氏（エコシステム千葉株）

白戸 健一 氏（株京葉興業）

盛田 巨樹 氏（千葉オイレッシュ株）

加藤 伸晃 氏（大平興産株）

相生 卓矢 氏（大平興産株）

○30年以上従事、年齢50歳以上

桑田 和雄 氏（大平興産株）

富田 聡 氏（株東亜オイル興業所）

川満 達弘 氏（高俊興業株）

絹村 政郎 氏（大平興産株）

鳥羽 功 氏（株ナリコー）

② 会長表彰として、労働安全優秀賞6事業所、労働安全特別賞2事業所、労働安全功労者賞3名及び安全標語最優秀賞1名を協会の第7回定時総会において表彰した。

【労働安全優秀賞】 株市川環境エンジニアリング 習志野サウクルセンター（習志野市）

株市原ニューエナジー（市原市）

臼井水産有（南房総市）

千葉美装株 エコRCセンター（南房総市）

千葉美装株 エコウッド（安房郡鋸南町）

株日美産業 南房総エコ・プラント（鴨川市）

【労働安全特別賞】 千葉オイレッシュ株（君津市）

株佐倉環境センター 佐倉エコ・プラント（佐倉市）

【労働安全功労者賞】 近江 広克 氏（株東亜オイル興業所）

齋藤 雅博 氏（株市原ニューエナジー）

山下 貴之 氏（千葉オイレッシュ株）

【安全標語最優秀賞】 佐藤 幸一 氏（J&T環境株）

③ （公社）全国産業資源循環連合会会長表彰として、優良従事者5名を推薦し、全国産業資源循環連合会の第9回定時総会において表彰された。

【優良従事者】 北村 和春 氏（株共同土木）

貝沼 健一 氏（開発化学工業株）

目黒 琢美 氏（株朝田商会）

笹生 訓央 氏（大平興産株）

笈川 康成 氏（千葉オイレッシュ株）

④ 環境大臣表彰として、循環型社会形成推進功労者（産業廃棄物関係事業功労者）1名を推薦し、「第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会」において表彰された。

富澤 洋 氏（株富澤商店）

⑤ 安全優良職長厚生労働大臣顕彰として、齋藤 雅博 氏（株市原ニューエナジー）を推薦し、厚生労働省講堂での式典において顕彰された。

5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

(1) 第7回定時総会

開催日 令和元年5月30日(木)
場 所 三井ガーデンホテル千葉
出席者 75社 91名、委任状167社、議決権行使書53社
議 事 <議案> 第1号議案 平成30年度事業報告について
第2号議案 平成30年度決算について
第3号議案 役員の補充について
以上の議案は、原案のとおり承認された。
<報告> 第1号 公益目的支出計画実施報告について
第2号 平成31年度事業計画について
第3号 平成31年度予算について

(2) 常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議した。

令和元年 5月 8日(水) 常任理事会、理事会
5月30日(木) 理事会
6月25日(火) 常任理事会、理事会
7月23日(火) 常任理事会、理事会
9月24日(火) 常任理事会、理事会
10月29日(火) 常任理事会、理事会
11月26日(火) 常任理事会、理事会
12月17日(火) 理事会
令和2年 1月29日(水) 理事会
2月19日(水) 臨時理事会
3月24日(火) 常任理事会、理事会

6. その他事業

(1) 県内視察

日 程 令和元年7月17日(水)

視察先 ①エム・エム・プラスチック(株) (富津市)
②東港金属(株) 千葉工場 (富津市)
参加者 33名

(2) 県外視察

第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加するとともに、千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催で、県外視察研修を実施した。

日 程 令和元年11月14日(木)～16日(土)
視察先 大栄環境(株) 和泉リサイクルセンター (大阪府和泉市)
参加者 19名

(3) 賀詞交歓会

開催日 令和2年1月29日(水)
場 所 三井ガーデンホテル千葉
※ 千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催

(4) 親睦ゴルフ大会

開催日 令和元年6月6日(木)
場 所 平川カントリークラブ (千葉市緑区)
参加者 27名

【 重要事項 】

平成31年4月1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉県知事と締結
平成31年4月9日 電子マニフェスト運用支援業務委託契約を(公社)全国産業資源循環

連合会会長と締結

- 令和元年 6月 3日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉市長と締結
- 令和元年 6月 27日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を柏市長と締結
- 令和元年 7月 26日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を船橋市長と締結
- 令和元年 9月 24日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託変更契約を船橋市長と締結
- 令和元年 9月 30日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託変更契約を千葉県知事と締結
- 令和元年 10月 1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託変更契約を千葉市長と締結

【 会員の変動状況 】

(令和2年3月31日現在)

| 種 類 | 期 首 | 入 会 | 退 会 | 期末現在 | 増 減 |
|-------|-------|-----|-----|-------|-----|
| 正 会 員 | 4 0 4 | 1 7 | 7 | 4 1 4 | 1 0 |
| 賛助会員 | 3 6 | 2 | 2 | 3 6 | 0 |
| 計 | 4 4 0 | 1 9 | 9 | 4 5 0 | 1 0 |

| | | |
|---------|----------|--------|
| (正会員内訳) | 収集運搬のみ | 2 1 9社 |
| | 中間処理のみ | 3 5社 |
| | 最終処分のみ | 3社 |
| | 収運・中間 | 1 4 5社 |
| | 収運・最終 | 3社 |
| | 中間・最終 | 1社 |
| | 収運・中間・最終 | 4社 |
| | 排出事業者その他 | 4社 |

【理事等】

(令和2年3月31日現在)

| 役職 | 氏名 | 会社名 |
|------|--------|-----------------|
| 会長 | 杉田 昭 義 | 杉田建材(株) |
| 副会長 | 小出 英 昭 | (株)佐倉環境センター |
| 副会長 | 山本 隆 | (株)日美産業 |
| 副会長 | 大賀 実 | 高俊興業(株) |
| 専務理事 | 木村 秀 雄 | (一社)千葉県産業資源循環協会 |
| 常任理事 | 新井 隆 太 | 新井総合施設(株) |
| 常任理事 | 大杉 仁 | J&T環境(株) |
| 常任理事 | 高橋 政 行 | 船橋興産(株) |
| 常任理事 | 岩 楯 保 | (株)市川環境エンジニアリング |
| 常任理事 | 宮内 美津子 | (株)ミヤウチ |
| 理事 | 野村 進 一 | 千葉オイレッシュ(株) |
| 理事 | 平澤 雅 彦 | 大平興産(株) |
| 理事 | 三橋 謙 一 | (株)東興開発 |
| 理事 | 加瀬 邦 雄 | (株)ナリコー |
| 理事 | 安池 慎一郎 | (株)東亜オイル興業所 |
| 理事 | 池田 美恵子 | (株)イケダ |
| 理事 | 大池 秀 和 | エコシステム千葉(株) |
| 理事 | 保田 優 太 | 保田産業(資) |
| 理事 | 水内 郁 夫 | (株)京葉興業 |
| 理事 | 小池 陽 二 | (株)タケエイ |
| 理事 | 吉田 理 和 | (株)富澤商店 |
| 理事 | 伊藤 公 子 | 共同リサイクル(株) |
| 理事 | 宮島 三 郎 | (一社)千葉県商工会議所連合会 |
| 理事 | 河井 信 明 | (一社)千葉県環境保全協議会 |
| 監事 | 手島 英 男 | 税理士法人 千葉中央会計事務所 |
| 監事 | 坂本 剛 | 太陽建設(株) |

参考

環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理により生じる生活環境への支障を防止し、適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚を促進し、並びに産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図るための財源として設置されている。運営委員会はこの基金の適正かつ効果的な運営を図るために設置されており、次のとおり会議を開催した。

○第1回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和元年7月23日（火）

場 所 協会会議室

- 議 事 (1) 環境保全対策基金設置運営規程の一部改正について
(2) 令和元年度 環境保全対策基金事業計画の進捗状況について
(3) その他

○第2回環境保全対策基金運営委員会

開催日 令和2年1月29日（水）

場 所 三井ガーデンホテル千葉

- 議 事 (1) 令和元年度 環境保全対策基金事業計画の進捗状況について
(2) 令和2年度 環境保全対策基金事業計画（案）について
(3) その他

【 委員 】

(令和2年3月31日現在)

| 役 職 | 氏 名 | 所属・役職 |
|------|---------|------------------------|
| 委員長 | 瀧 和 夫 | 千葉工業大学名誉教授 |
| 副委員長 | 田 谷 徹 郎 | (一財)千葉県環境財団 理事長 |
| 委 員 | 岩 田 元 一 | (公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事 |
| 委 員 | 能 條 靖 雄 | 千葉県環境生活部 循環型社会推進課長 |
| 委 員 | 正 木 忍 義 | 千葉県環境生活部 廃棄物指導課長 |
| 委 員 | 小 出 英 昭 | (一社)千葉県産業資源循環協会 副会長 |
| 委 員 | 山 本 隆 | (一社)千葉県産業資源循環協会 副会長 |
| 委 員 | 大 賀 実 | (一社)千葉県産業資源循環協会 副会長 |

青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として45名をもって構成し、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業実施を期して、以下のとおり活動した。

1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。(8名加入)

2. 定時総会

第7回定時総会を平成31年4月18日(木)に開催し、平成30年度事業報告及び収支決算報告、平成31年度事業計画及び収支予算は原案のとおり承認された。

3. 役員会

役員会を6回開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議した。

4. 委員会

(1) 総務企画委員会

役員選任(案)を作成し、役員会へ提案した。

(2) 研修事業委員会

学習研修の検討を行った。

(3) 交流事業委員会

会員の親睦、他団体との交流について検討した。

(4) 公益事業・地域貢献委員会

社会貢献事業の検討を行った。

5. 他協会との交流

(1) 全国産業資源循環連合会青年部協議会

- ・第20回通常総会(東京都)
- ・第11回全国大会 志国(四国)大会 in 高松(香川県)
- ・第10回カンファレンス(兵庫県)

(2) 全国産業資源循環連合会青年部協議会 関東ブロック

- ・第15回通常総会(埼玉県)
- ・賀詞交歓会(神奈川県) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・幹事会

6. 研修会等

(1) 潜在能力を引き出すマインドの法則

講師：フォルテッシモ メンタルルーム 代表 久瑠 あさ美 氏

(2) チャンスに転換するクレーム対応

講師：(株)アンビシャス 代表取締役 清水 絵津子 氏

(3) 県外施設見学

見学先：(株)シタラ興産 サンライズFUKAYA工場 (埼玉県)

7. 千葉県中小企業団体青年中央会

総会、その他関連行事等に参加した。

女性部会活動報告

女性の視点からみた「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」についての課題を協会に提案するとともに、部会員相互で情報交換し、互いの知識向上、親睦を図ることを目的として7名で構成している。

また、研修会、施設見学会及び他団体との交流等を以下のとおり活動した。

1. 組織の充実強化

女性部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議や常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。

2. 女性部会

女性部会を6回開催し、現在抱えている産業廃棄物問題についての話し合い、情報交換等を行った。

3. 施設見学

大栄環境㈱ 和泉リサイクルセンター（大阪府和泉市）の見学に参加した。

4. 研修会

疑問に答える廃棄物処理法セミナーを開催した。

講師：BUN環境課題研修事務所 主宰 長岡 文明 氏

5. 他協会との交流

- (1) 関東地域協議会女性部会 総会・役員会・勉強会に参加した。
- (2) 第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会（兵庫県）に参加した。
- (3) 「女性部会のつどい in 神戸」（兵庫県）に参加した。
- (4) 関東地域交流会（東京都）に参加した。